

日本寄生虫学会とのコラボレーション！ 「高校生のためのサイエンス・カフェ」を開催

3月20日、宮崎市民プラザにおいて「高校生のためのサイエンス・カフェ～めくるめく研究者の世界 まさか寄生虫学者になるなんて！」を開催しました。このイベントは、3月19・20日に開催された「第85回日本寄生虫学会大会」にあわせ、より多くの高校生に研究に親しみを持ってもらうことを目的に日本寄生虫学会と清花アテナ男女共同参画推進室の共催で実施したもので、県内各地の高校生とその保護者など50名以上が参加しました。

会場では、奈良武司先生（順天堂大学医学部教授）による「寄生虫学者に向く10の性質」と題したミニレクチャーの後、少人数に分かれてのグループトークを行いました。高校生と研究者が5～6名のグループになり、会場に用意された寄生虫に関する標本を見ながら説明を行ったり、進路等について具体的な話を聞くなど、各グループとも非常に盛り上がっていました。当初は緊張気味だった参加者も、ゲストとして登場した全国各地で活躍中の若手研究者らの明るい雰囲気ですっかりリラックスした表情となっていました。

アンケートでも「ぜひ他分野でも同じような企画を開催してほしい」「先生方の熱心な姿を見て一層研究者になりたいと思った」といった意見が数多く寄せられました。きっと参加した高校生の皆さんにとって、これからの進路を考え、深めるよいきっかけとなったのではないのでしょうか。



平成28年5月16日 第83号 / 発行 清花アテナ男女共同参画推進室

アテナかわらばん

平成27年度各種表彰者が決定！

◆女性研究者奨励賞

3月4日、平成27年度女性研究者奨励賞表彰式を開催し、下記の教員1名、学生2名が表彰されました。

マドウエスタラダさん（医学部医学科 助教）
 姜丹鳳さん（医学獣医学総合研究科 修士課程2年）
 宇野 瑞穂さん（工学研究科 修士課程2年）

※所属・学年は平成28年3月現在

平成20年度から行うこの賞では、これまでに12名が表彰を受けています。池ノ上学長からの表彰を受けた後、今年度受賞者の皆さんには表彰対象となった研究概要や今後の目標・意気込みについてご発表いただきました。それぞれの分野で創意工夫して研究に取り組む様子伝わる内容で、参加した関係者も熱心に耳を傾けていました。



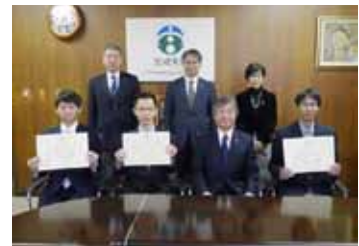
◆はたらく未来アワード

3月30日、「はたらく未来アワード」の表彰式を開催しました。本アワードは、本学全体の働きやすさを向上させるための知恵や工夫について、本学教職員を対象に募集を行ったもの。外部委員を含む選考委員会を経て、下記の3名が選定されました。

最優秀賞：稲葉 丈人さん（農学部 准教授）
 優秀賞：高崎 裕貴さん（企画総務部）
 優秀賞：井田 隆徳さん（フロンティア 准教授）

※所属は平成28年3月現在

表彰式では、学長が表彰状を手渡し「今後も本学のよりよい環境づくりに貢献してほしい」とコメントしました。今後、アイデアを参考に具体化について検討を進める予定です。



女子高校生のためのサイエンス体験講座 今年もたくさんの女子生徒の皆さんが参加しました！

3月8日、宮崎県内の女子高校生（1・2年生）を対象とした恒例の「女子高校生のためのサイエンス体験講座 in 宮崎大学」を開催しました。今年も定員を大きく上回る参加申し込みが寄せられ、理系分野に関心を持つ女子学生の層の厚さを実感！当日は厳正に選ばれた約90名の女子学生が9つのプログラムに参加しました。

工学部・農学部・地域資源創成センターの先生方のコラボレーションにより実現した「柑橘類の魅力を丸ごと体験してみよう」では、本県特産物の日向夏などの柑橘類を利用したグミや芳香剤づくりに挑戦。グミの固まり具合がグループごとに異なることに疑問を感じるなど、実験の難しさや楽しさを体感できたようです。

さらに、英語を交えた説明や実験を行うプログラムが複数あったことも今年の体験講座の特徴です。はじめは英語による説明等に戸惑う様子を見せる参加者も見られましたが、時間が経つに連れ、先生方や留学生等とのコミュニケーションが深まり笑顔も多く見られました。

参加した高校生からは、「普段できない体験ができ、進学に向けての視野がひろがりました！」「物理には興味がなかったけど、今日の講座でとても面白いと感じました」「宮崎大学の農学部に行きたいと考えていたのですが、講座に参加して行きたい気持ちをもっと強くなりました」など前向きな感想が多く寄せられました。年度末のお忙しい中、プログラム等でご協力くださった先生方、大学生の皆さん、本当にありがとうございました。今回の成果・反省を踏まえ、28年度はさらに充実したプログラムが提供できるよう工夫を凝らしたいと考えています。



実施プログラム一覧（敬称略、所属は開催日現在）

プログラム名	担当教員	定員 (名)
森林生態系と環境問題のかかわり	高木正博(農学部)	20
燃料電池を動かしてみよう 英語を交えたサイエンス体験	穂高一史(工学部) 福島三穂子(地域資源創成研究センター)	8
柑橘類の魅力を丸ごと体験してみよう	山崎正夫・柳原啓之(農学部) 菅本和寛(工学部) 山崎有美(地域資源創成研究センター)	20
ゲームだけじゃない！ 映像技術の進化と可能性を知ろう	坂本真人(工学部)	10
森に棲む動物の役割 その不思議を解き明かそう	平田令子(農学部)	10
あなたはお酒に強い？ アルコール代謝酵素遺伝子の解析	井田隆徳(フロンティア) 和田啓(TT推進機構)	8
“くすり”はなぜ効くの？	武谷立(医学部)	8
ナノの世界を体験してみよう	吉野賢二(工学部)	5
微生物はもっとも重要な生物である！	ウルバンチク ヘンリク(農学部)	4

◇あてなのらくかぎ◇このコーナーでは推進室で起こった出来事や話題を少しだけご紹介します

新年度となり、推進室も新しいスタッフ・先生方を迎えてスタートしていますが、新たなメンバーが加わることでの変化を感じ、改めて多様性をもたらす効果を実感しています。新メンバーの皆さんには今後のかかわらばんでも登場して頂く予定ですので、どうぞお楽しみに。

宮大ハッピースローガン

隣の人の気持ち、考えてみませんか？「ありがとう」の気持ち、言葉にしてみませんか？

忙しい毎日でも、ほんの少しか相手思いやる気持ちを持つだけで、ぐんと快適になります